

第370号 (平成30年12月1日(土)発行)

発行所

京都女子大学 宗教部

京都市東山区今熊野北日吉町35  
電話 075 (531) 7074



本師源信ねんごろに  
一代仏教のそのなかに  
念仏 門ひらきてぞ  
濁世末代をしへける

〔高僧和讃〕源信和尚  
第二首



# 仏への道

名誉教授 秋本 勝

本学は長年にわたって仏教教育をその根幹に置いてきました。これからそれは変わることなく続くでありませぬ。その願うてやみませぬ。なげなら、仏教を知らずに生きていくと、ただこの世で欲しいものを追い求め、それを得ること以外に幸せはないと思ひ込み、ややもすれば欲望を満たすことだけに夢中になってしまふからです。また、そのような、自分では気づかない姿が見えてくるのは、仏教に耳を傾けることでは有り得ないと思ひからです。

仏教は宗教の一つとされています。特に世界の異民族の間に広く信仰をもち取ったという意味で、世界三大宗教の一つに数えられていることは周知の通りです。ただし、キリスト教・イスラム教と仏教とで一つの大きな違いがあります。それは、前二者は人間をはるかに超越した全知全能なる唯一絶対の神を不完全な人間が信じ仰ぐ教であるのに対して、仏教は不完全な人間が仏に成れる教であるという点です。

ムにあります。また、キリスト教はユダヤ教をルーツとしているともされ、エルサレムは、元々ユダヤ教の聖地でもあるので、二つの世界宗教と一つの民族宗教が相互に深い関係を持ち、聖地がエルサレムに集中するというところは興味深い点です。

ここで少し余談です。ユダヤ教徒の国と言われるイスラエルはこのエルサレムを首都だと主張していますが、国連は三宗教の聖地であることからこれを認めず、テルアビブをイスラエルの首都としています。最近、アメリカのトランプ大統領はエルサレムをイスラエルの首都だと、アメリカリカ大使館をテルアビブからエルサレムに移転しました。これは政治力学的な問題である一方、ユダヤ教とキリスト教との関係がより密接であることを示しているようにも見えます。

いることは言うまでもありませんが、神への絶大な信仰を説くことが中心であるように思われまふ。これに比して言うところ、仏教は、専ら信仰中心と云うよりも、「気づき」の宗教と云うてもよいでしょう。仏教を聞けば聞くほどに、これまで思ひもなかつた自分の姿に気づいていく、否、気づかされていくからです。二宗教と同様に、仏教も仏への深い信仰から成り立っていることは言うまでもありませんが、人間そのものへの飽くなき洞察が徹底しているように思われます。

仏教によって何に気づかされるのでしょうか。まず、自己の有様です。自分がどのような存在であり、どのような生き様をしているのか、それは自分ではなかなか気づくことができません。自分では正しく生きています。つもりでも、仏に教えられて初めてそうでないことに気づくことが多々あるという点です。

くありません。そのような姿は自分だけでは気づくことが難しいものです。仏の教えに触れて初めて見えてくると言ってもいいでしょう。

ここで欲望とか自己中心性などと表現しているものはいわゆる「煩惱」と言われているものですが、本来、この煩惱を自ら克服して仏に成ることが仏教の目標です。しかし、その目標を達成することは容易なことではありませぬ。

その後、「像法」の時代、「末法」の時代が続くとされています。それは「教・行・証」(教えとその実践とそれによって得られる覚り)が備わっているか否かによって区別される像法の時代には教・行のみが、末法の時代には教のみが残るとされるのです。正法と像法の時代は各々五百年から千年続き、末法は一万年続くとされています。

積尊が生きておられた時代、また亡くなられてしばらくの間は「正法」の時代と言われます。それは教え(教)とその実践(行)が盛んで覚り(証)に至る者が存在するという時代です。

期末試験の監督をしていて気付いたことがある。試験時間の終了に近づく、何人かの学生が試験を終え教室を出て行く。そのとき、退出する学生らが片手にバッグを持ち、空いた方に手に何かを握り締めて静かに教室を出て行った。よく見ると、試験解答中にでた消しゴムのかすをそっと集め、片手に握りしめて教室をあとにしていたのである。学生たちはごく自然に当たり前のこととしてその行為を行っていた。本学の、おそらく女性教員らにそのようにしつけられたのであろう。最初は意識的にしていた行為が、無意識の動作として、あたりまえのこととしてあらわれた。この行為は、後で同じ机を使う他の学生が気持ちよく試験に臨むことができる。

むことができる。ささやかな思いやりである。また、お掃除の方々の仕事のしやすさにもつながっている。何でもないことかもしれないが、私は美しい所作だと思った。品格といたてもよいかもしれない。女子大学のよき、京都女子大学の良き伝統が入ってもきつと、はじ

一〇五二年に末法の時代に入ったとされている。親鸞聖人(一一七三〜一二六三)が「教行信証」の中に「行証久しく廃れ」と書いておられるのは既に末法の時代に入っていたと自覚を示しています。そのために、かねてその時代のために

生とのやりとりがしるさされている。学生は、自分にしかできない仕事、働きたい、働くことの意味を探して悩んでいる。それに対して著者は「あなたにはまだあなたにしかないような素質や能力はたぶんありません。会社に入ってもきつと、はじ

で自己中心にただ欲望を満たしていくだけでは真の安穩はないからです。しかし、世俗の中にある道が用意されていたからです。

である。意味がなくても役に立たなくても、得にならなくても、それでもしなければならぬことがある。イギリスの作家ジョージ・オーウェルは、ビルマ人の死刑囚が絞首刑台に連れて行かれるときのある状況に眼を奪われたという。死刑囚が水たまりをひよいとよけた絞首刑になるのだから、ズボンが濡れようが濡れまいがたいした問題ではないはずだ。けれども、死囚はその水たまりを優雅によけた。死刑囚のからだに染みついた品位に感銘を受けた。と、本学の学生が消しゴムのかすを握り締めて退出したときに、ふと、このことを思い出した。

## お知らせ

※平成30年度宗教教育海外研修会※ (インド・ネパール研修旅行)

期 間 平成31年2月15日(金)〜2月25日(月)  
行 先 ベナレス、ブッダガヤ、クシナガラ、ルンビニ他の四大聖地を中心としたコース。  
募集人数 先着20名  
旅行代金 約25万円(参加人数やレートにより変動することがあります。)  
申 込 先 宗教教育センター (L校舎3階)

★全食付!  
★京女生のための特別なコースで、仏教四大聖地を訪れます!



※それぞれ詳細は京女ポータル、掲示板または宗教教育センターで確認してください。

## 濁標

今年も余すところ僅かとなった。この一年を振り返ると例年にならぬ猛暑、豪雨災害などがあつた。私の知り合いも台風二十一号によって床上浸水や断水被害を受けた。

一方で毎年報じられるようなニュースもあつた。その一つはいじめに関するニュースである。大津市のある公立中学校では、「いじめはある」との前提で日頃から生徒指導をしているとのことであつた。大津市では二〇一一年に男子生徒が自殺した事件があり、それを教訓にしての対応であつた。

いじめはあつて欲しいというのでも確かである。これまでも自分の周囲でもいじめはあつたのでない。中にはいじめの被害者になったりした人もいふかも知れない。

## 食物栄養学科からの便り

### ⑥消しゴムのかす

ちらりと見えた瞬間であつた。ささいなことかもしれないが、ささいなことであつても大事なことがあると思つた。そのとき、以前読んだ本のことを思い出した。

めは、だれでもやれる仕事しかさせてもらえないでしょう」と答える。「だれでもできること」を「あいつにまかせておけば大丈夫だ」と言ってもらえるようになるためには、工夫をこらして何回もくりかえす。そのなかではじめて認められるもの

悲しいことではあるが、縁さえ整えば私たち人間はどんなことでもしてしまうのである。そのことに蓋をして「いじめはだめだ」と叫んでも、本当の解決にはならない。

(普)

今井恵子



# 古代の宇宙観と現代の宇宙論

現代社会学部助教 道越 秀吾

先日、民間企業が月旅行の計画を発表し話題を集めました。また、小惑星探査機はやぶさ2が、地球近傍小惑星リュウグウに到着したことも報道されました。人類が宇宙に本格的に乗り出す時代が近づいているのかもしれない。それに伴い、世間でも宇宙という言葉がよく使われるようになりました。ここでは宇宙に関するいくつかの話題を取り上げたいと思います。

中国の漢時代の書物「淮南子」によると、「宇宙」は空間を意味し、「宙」は過去・現在・未来の時間全てを表すそうです。つまり、宇宙とは、三次元空間と時間をあわせた四次元時空を表すということです。宇宙が時間と空間の全部だといわれても意味が分かりにくいかもしれませんが、しかし、これは現代の科学的理解に合致します。

夜空に見える星のほとんどが、太陽と同じ自ら光を発する恒星とよばれる天体です。太陽に最も近い恒星は、プロキシマ・ケンタウリという恒星で、約4光年の距離の位置にあります。4光年は距離の単位であり、約37兆キロメートルに相当します。光の速さで4年かかる距離という意味です。つまり、地球に光が届くまで4年かかるので、宇宙の起源や構造について感じられます。

人類がいかに関心を寄せてきたかが伺えます。古代の人々は夜空の星の動きを観測し、星の動きを予測できるようになっていました。それに伴い神話の宇宙観から、より合理的な哲学的宇宙観へと変わっていきま

す。そして、静止した地球のまわりを星々が回っているという考えに達しました。いわゆる天動説の最初です。この天動説を集大成したのが古代ギリシアの哲学者のアリストテレスでした。この天動説的宇宙観は、ガリレオが活躍して地動説が成立するまでの1500年近くの間信じられていました。

天動説的宇宙観とは、世界各地の神話や伝承で、宇宙の起源の話がよくととりあげられていました。宇宙の中で地球がある地点は、特別な場所であるということですが、

インドの宇宙観 次は仏教が生まれたインドの宇宙観を取り上げます。世界の中心にあるとされたのが、須弥山という山です。この山を中心として、世界が形成されており、太陽や月もその周りを回るといいます。現代の観点で解釈すれば太陽や惑星などを含めた太陽系が、この須弥山とそれをとりまく世界と見ることができ

ます。そして、この須弥山とそれをとりまく世界は、他にもたくさんあると考えられます。小千世界を形成し、さらに、中千世界が千個で大千世界を形成すると考えます。つまり、世界は階層構造をしており、この3つの階層をあわせたものを世界全体と捉え「三千大千世界」とよびます。宇宙の中の太陽系、すなわち須弥山をとりまく世界は、数多くある中の一つであるということなのです。このような考え方は、ある面では現代の宇宙論と通じるものがあります。

現代の宇宙論 須弥山とそれをとりまく世界が惑星系であるとするならば、小千世界とは、惑星系が太陽系以外にもたくさんあることを意味します。現代では、太陽系は銀河とよばれる巨大な星の集まった円盤の中の1つの惑星系にすぎないということがわかっており、銀河内には1000億個もの星があると言われています。つまり、小千世界は銀河に対応するといえるかもしれません。さらに、銀河は我々の属する銀河だけではなく、数多くの同じような銀河があるらしいことが20世紀に入りわかってきました。銀河も集団を作っており、銀河が100から1000個集まった集団を銀河団といえます。銀河団は中千世界と言え

るかもしれません。さらに、銀河団が泡状の構造を作っており、宇宙の大規模構造とよばれています。これは大千世界と言え

【宇宙という言葉の意味】 まずは宇宙という言葉そのものに触れます。もともとは今という世界と同じような意味で使われていました。明治時代の西洋の学術用語を和訳する必要が生じたときに、宇宙が地球の外の場所を指す言葉になりました。

七高僧の六人目は、日本の源信和尚(九四二―一〇一七)です。平安時代に大和国(奈良県)の当麻の里に生まれ、十三歳の時、比叡山に登って出家し、良源上人に師事して、天台宗の教学を修められ、若くして当代の賛美を一身に受ける学匠とされます。ある時、その学徳を帝から讃えられて褒美に賜った品を、郷里の当麻に住む母に送ったところ、「後の世を導く僧とたのみしに、世を渡る僧となるぞかなしき」という歌を添えて、送った品が返されてきたのです。世俗の名譽に執着することを厳しく戒められた源信和尚は、その後、比叡山の横川に移ってひたすら仏道に励まれ、四十四歳の時に『往生要集』を著して、日本浄土教の礎を築かれました。そこで親鸞さまは、「一代仏教」の中で「濁世末代」の凡夫の為に「念仏一門」を開かれたと讃えられるのです。

天動説 世界各地の神話や伝承で、宇宙の起源の話がよくととりあげられていました。宇宙の中で地球がある地点は、特別な場所であるということですが、

天動説的宇宙観とは、世界各地の神話や伝承で、宇宙の起源の話がよくととりあげられていました。宇宙の中で地球がある地点は、特別な場所であるということですが、

天動説的宇宙観とは、世界各地の神話や伝承で、宇宙の起源の話がよくととりあげられていました。宇宙の中で地球がある地点は、特別な場所であるということですが、

天動説的宇宙観とは、世界各地の神話や伝承で、宇宙の起源の話がよくととりあげられていました。宇宙の中で地球がある地点は、特別な場所であるということですが、

天動説的宇宙観とは、世界各地の神話や伝承で、宇宙の起源の話がよくととりあげられていました。宇宙の中で地球がある地点は、特別な場所であるということですが、

天動説的宇宙観とは、世界各地の神話や伝承で、宇宙の起源の話がよくととりあげられていました。宇宙の中で地球がある地点は、特別な場所であるということですが、

天動説的宇宙観とは、世界各地の神話や伝承で、宇宙の起源の話がよくととりあげられていました。宇宙の中で地球がある地点は、特別な場所であるということですが、

天動説的宇宙観とは、世界各地の神話や伝承で、宇宙の起源の話がよくととりあげられていました。宇宙の中で地球がある地点は、特別な場所であるということですが、

## 法のことば

本師源信ねんごころに 一代仏教のそのなかに 念仏一門ひらきてぞ 濁世末代をしへける

〔高僧和讃 源信和尚第二首〕

七高僧の六人目は、日本の源信和尚(九四二―一〇一七)です。平安時代に大和国(奈良県)の当麻の里に生まれ、十三歳の時、比叡山に登って出家し、良源上人に師事して、天台宗の教学を修められ、若くして当代の賛美を一身に受ける学匠とされます。ある時、その学徳を帝から讃えられて褒美に賜った品を、郷里の当麻に住む母に送ったところ、「後の世を導く僧とたのみしに、世を渡る僧となるぞかなしき」という歌を添えて、送った品が返されてきたのです。世俗の名譽に執着することを厳しく戒められた源信和尚は、その後、比叡山の横川に移ってひたすら仏道に励まれ、四十四歳の時に『往生要集』を著して、日本浄土教の礎を築かれました。そこで親鸞さまは、「一代仏教」の中で「濁世末代」の凡夫の為に「念仏一門」を開かれたと讃えられるのです。

〔森田 眞巴〕

### 随想 仏典

#### お盆と『孟蘭盆経』 井上博文

京都では毎年8月16日盆で、食べ物や盂蘭盆を盛る物のよう

### シリーズ 智慧の蔵 20

#### 『ブッダ・ゴータマの弟子たち』

増谷文雄 著 現代教養文庫 一九九七年十一月



今回、ご紹介するのは、仏教の開祖である釈尊の弟子たちについて、とても分かりやすく解説した書物です。書名の中の「ブッダ」とは、みなさんが授業で習ったように、古代インドの言葉であるサンスクリット語で、「目覚めた人、覚醒した人」を意味し、「ゴータマ」とは「最上のタマ」(牛「ゴ」を意味し「マ」牛「ゴ」)を意味しますが、ここでは、ある一族の苗字を指します。まとめると、「ブッダ・ゴータマ」とは、「最上の牛」と呼ばれる家系から出た目覚めた人」という意味で要するに釈尊のことを指しています。その釈尊が

〔安田 章紀〕